

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！6月末時点で、第3期生1名が北海道特派員として引き続き海外で活動中です！

## ○令和3年度 みらチャレ第4期生の審査・選考を行いました

4月1日から募集していました「ほっかいどう未来チャレンジ基金」第4期生に学生留学コース2名、文化芸術コース1名の応募があり、審査・選考を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している中での選考ということで、面接審査を一部オンラインで開催するなど例年とは違った対応で受験者も大変だったようです。

選考結果は今後お知らせする予定ですが、留学の実施については、外務省の海外安全情報サイトや、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、留學生の安全確保を図りながら準備を進めていきます。

北海道の若者たちが世界で学べるよう、早く留学が再開できる環境が整うことを願っております。

## ○北海道特派員レポート！ ～支援終了後に海外・道外で活躍する基金生の活動を紹介します～

### 第3期生（文化芸術コース）の清水柚衣さんがリスト音楽院の修士課程の春ゼメスター（学期）を修了しました

ハンガリーはワクチン接種が進み、5月末にはワクチン接種者が500万人を突破するなど、新型コロナウイルス免疫獲得に対しての意欲的な取組みが続いており、死者数や入院者数も減少しているなど、感染拡大は収まりつつあります。

そんな中、先日無事に修士課程1年目の春ゼメスターを修了しました。今年度はピアノのレッスン(週2回)の他に音楽史、現代音楽、楽曲分析、ハンガリー語(週4回)、室内楽の授業を受講し、全科目無事に(日本の評価では秀にあたる)5(excellent)の評価をいただきました。

また、室内楽の授業では、メンデルスゾーンの連弾作品に挑戦しました。メンデルスゾーンの作品は一般的にはロマンティックで甘美な旋律と指を素早く動かしたり、絶えず技巧的で華やかな部分があったりと多様なテクニックを必要としますが、連弾作品でもそれは例外ではなく、むしろ二人の腕が交差するなかでタイミングや抑揚を合わせたり、お互いの旋律を引き継いだりするのが大変難しかったです。

それに加えて、担当の先生に勧められたのをきっかけに、ブダペストで行われる予定の国際コンクールへの参加準備をしておりました。しかし今年は参加者多数だったことと、大変レベルが高かったため、残念ながら予備予選を通過することはできませんでしたが、今の自分に期待できる最高レベルのパフォーマンスができたと思いますし、結果には納得しています。なによりもコンクールに向けて先生と一緒に準備に取り組んだこの期間に得たものはとても多く、私の演奏を大きく変えてくれる貴重な時間になりました。

今回は多数のリストの作品を演奏しましたが、比較的体型も手も小柄な私にとっては、肉体的な疲労も大きかったため、長時間の激しい練習にも耐えられるように筋力トレーニングや柔軟をしたり、リストの作品の宗教的な側面を理解するために練習だけでなく、研究論文を読んだりもしました。また、多数の作品を練習する必要があるため、毎日のスケジュール管理や、その日にどんな練習をするか、その振り返りを細かく30分刻みにノートに記して無駄な時間をなるべく省けるように工夫したり、毎日一回はiPadで自分の演奏している動画を撮影して体や指の動きを確認したり、と

きには練習の様子も撮影して無駄な練習をしていないかをチェックしたりもしています。冬休み中に始めた練習記録ノートはもう3冊目に突入しました。

コンクールエントリーにあたり、リスト音楽院内にあるレコーディングスタジオにてリストとベートーヴェンの作品から3曲をレコーディングしていただきましたので、ぜひご覧ください。

- ベートーヴェン:ピアノソナタ第26番作品81a「告別」より第一楽章

<https://youtu.be/UjaZ00V2mIs>

- リスト:2つの演奏会用練習曲より2.小人の踊り

[https://youtu.be/j7EE0nnOa\\_w](https://youtu.be/j7EE0nnOa_w)

- リスト:ハンガリー狂詩曲第12番

<https://youtu.be/IpL3ZzHm4Dc>

現在はせっかく勉強したリストの作品をぜひ舞台上で披露したいという思いから、イタリアで行われるコンクールにもエントリーしているため、引き続き準備を続けています。



### 清水 柚衣さん 第3期生(文化芸術コース)

留学先:ハンガリー

留学期間:令和元.9~令和4.7(予定)

留学概要:音楽に溢れた北海道づくりを目指すため、リスト音楽院で著名なピアニストのレッスンを受講し、演奏技術の向上と知識を高める。

## ○応援サポーターとして御参加・PR御協力いただきました

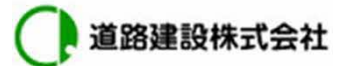
みらチャレ基金のPRに協力していただく「ほっかいどう未来チャレンジ応援サポーター」として次の企業様に新規加入いただき、PRに御協力いただきました。

(株)環境経営総合研究所様、道路建設(株)様は、北海道銀行SDGs私募債の発行により、北海道銀行様が受け取る手数料の一部を当基金をご指定いただき、寄附をいただきました。

道南いさりび鉄道(株)様は、本年3月26日に開業5周年を迎えましたが、今回、道南いさりび鉄道清川口駅ほかに「みらチャレポスター」を掲示いただきました。

今後、各種情報提供を行いますとともに、ポスター掲示やリーフレットの配布など基金事業のPRに御協力いただきます。

どうぞよろしくお祈りいたします！



## ○第3期生「活動報告書」を作成しました

みらチャレ第3期生の留学活動報告や今後の目標を紹介するとともに、令和2年度に実施したみらチャレ関係の事業、帰国後の基金生の活動、応援パートナー等企業の皆様に御協力いただいた事業などを紹介する活動報告書を作成しました。

令和3年3月26日にオンラインで開催した令和2年度帰国報告会の様子を収めたDVDとともに応援パートナー企業や大学など関係者の皆様に送らせていただきました。

今後、道のホームページでもダウンロードできるように掲載いたします。



## ○「ほっかいどう未来チャレンジ基金」PRポスター展を開催しました

4月13日(火)、14日(水)の2日間、4月1日から始まった令和3年度みらチャレ第4期生の募集内容や、これまで海外留学を行った若者たちの留学成果などについて紹介したPRポスター展を道庁本庁舎1階特設展示場で開催しました。

会場では、第4期生の募集概要や、第3期生の留学成果報告、これまでの基金生の帰国後の活動状況、応援パートナー企業の皆様とのタイアップ事業など、皆様方とこれまで実施してきた「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の様々な取組みをポスターで紹介しました。



### 応援パートナーの皆様

(2021年6月現在・敬称略)



武田 孝 有末 真哉 石川 諭史 井上 幹士 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 鈴木 伸明 船津 秀樹 山田 義勝  
他匿名希望の個人・企業6者

北海道総合政策部地域創生局地域政策課  
TEL: 011-206-7380 (直通) FAX: 011-232-1053  
E-mail: mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp  
ホームページ: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/mirai-jinzai.htm>



基金生のチャレンジ風景をお届けします。